

# 美濃陶芸

東濃信用金庫創業100周年記念事業

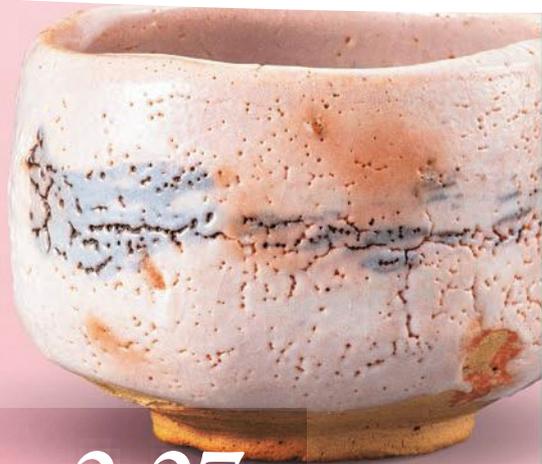


特別企画展

# 6人の人間国宝展

## 荒川豊蔵

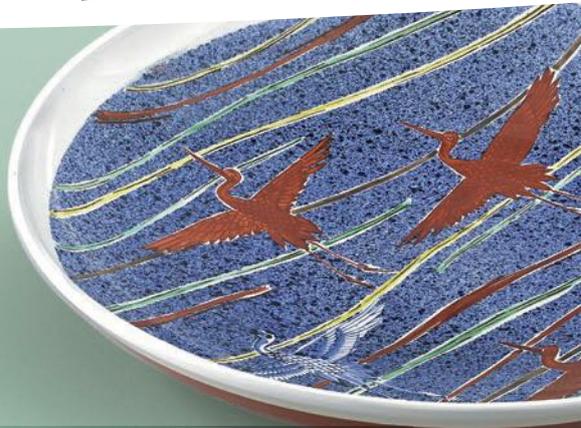
重要無形文化財「志野・瀬戸黒」



2022 1.7 金 - 2.27 日

## 加藤土師萌

重要無形文化財「色絵磁器」



2022 3.2 水 - 5.8 日

## 塚本快示

重要無形文化財「白磁・青白磁」



2022 5.11 水 - 7.3 日

## 鈴木藏

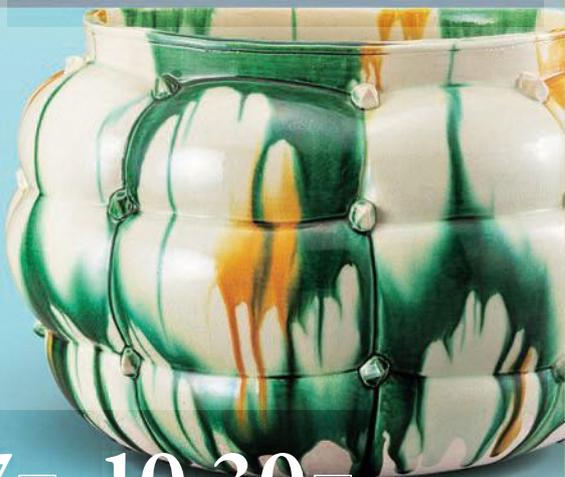
重要無形文化財「志野」



2022 7.6 水 - 9.4 日

## 加藤卓男

重要無形文化財「三彩」



2022 9.7 水 - 10.30 日

## 加藤孝造

重要無形文化財「瀬戸黒」



2022 11.2 水 - 12.25 日

 **とうしん美濃陶芸美術館**  
Toshin Mino Ceramic Art Museum

2022年 1月7日 金 - 12月25日 日

【開館時間】10:00-17:00 【休館日】月曜日(月曜日が祝日の場合は翌平日)・展示替期間・年末年始

〒507-0014 多治見市虎溪山町4丁目13番地1 とうしん学びの丘“エール”内  
TEL 0572-22-1155 FAX 0572-22-1197

《写真6点は美濃陶芸作品永年保存事業での選定作品》  
荒川豊蔵「志野一文字茶碗」(多治見市美濃焼ミュージアム蔵) 加藤土師萌「吹墨絵飛鶴文大皿」 塚本快示「白磁唐草文大皿」  
鈴木藏「志野茶盃」(多治見市美濃焼ミュージアム蔵) 加藤卓男「三彩花器 豊容」(多治見市美濃焼ミュージアム蔵) 加藤孝蔵「瀬戸黒茶盃」

**入館無料**

東濃信用金庫創業100周年記念事業として、特別企画展「美濃陶芸 人間国宝展」を開催いたします。美濃にかかわりのある重要無形文化財保持者(人間国宝)6人の作品を2022年1年をかけてご紹介いたします。東濃信用金庫が昭和61年度から行っている美濃陶芸作品永年保存事業で購入した作品をはじめ、数々の名品を展示いたします。

東濃信用金庫創業100周年記念事業



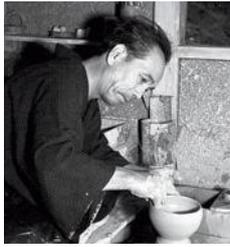
# 美濃陶芸 6人の人間国宝展

特別企画展

## 荒川豊蔵

重要無形文化財「志野・瀬戸黒」

ARAKAWA Toyozo



「志野藤絵茶碗 早春」(荒川豊蔵資料館蔵)

1894年(明治27年) 岐阜県土岐郡多治見町(現・多治見市)に生まれる  
 1922年(大正11年) 京都の東山窯の工場長となる  
 1927年(昭和2年) 北大路魯山人の星岡茶寮の窯場就任となる  
 1930年(昭和5年) 可見郡久々利村大萱の牟田洞で菊絵の志野陶片を発見する  
 1933年(昭和8年) 大萱の牟田洞に陶房を築く  
 1955年(昭和30年) 重要無形文化財「志野・瀬戸黒」保持者に認定  
 1985年(昭和60年) 8月11日逝去



## 加藤土師萌

重要無形文化財「色絵磁器」

KATO Hajime



©朝日新聞社提供



「色絵釉裏金彩食籠」(多治見市美濃焼ミュージアム蔵)

1900年(明治33年) 愛知県東春日井郡瀬戸町(現・瀬戸市)に生まれる  
 本名 一(はじめ)  
 1926年(大正15年・昭和元年) 岐阜県陶磁器試験場助手となる  
 1937年(昭和12年) パリ万博「最高賞」受賞  
 1940年(昭和15年) 横浜市港北区日吉に日吉窯を築窯  
 1955年(昭和30年) 東京藝術大学美術学部教授となる  
 1961年(昭和36年) 重要無形文化財「色絵磁器」保持者に認定  
 1968年(昭和43年) 9月25日逝去

## 塚本快示

重要無形文化財「白磁・青白磁」

TSUKAMOTO Kaiji



「青白磁花鳥文壺」(土岐市美濃陶磁歴史館蔵)

1912年(大正元年) 岐阜県土岐郡駄知町(現・土岐市)に生まれる 本名 快児  
 1943年(昭和18年) 小山富士夫の「影青襍記」に感銘を受け青白磁をはじめる  
 1959年(昭和34年) 土岐市陶磁器試験場の講師となる  
 1964年(昭和39年) カリフォルニア博覧会「金賞」受賞  
 1967年(昭和42年) 第14回日本伝統工芸展「優秀賞」受賞  
 1983年(昭和58年) 重要無形文化財「白磁・青白磁」保持者に認定  
 1990年(平成2年) 6月10日逝去



## 鈴木藏

重要無形文化財「志野」

SUZUKI Osamu



「志野花器」(岐阜県美術館蔵)

1934年(昭和9年) 岐阜県土岐郡駄知町(現・土岐市)に生まれる  
 1961年(昭和36年) 第8回日本伝統工芸展「NHK会長賞」受賞  
 1962年(昭和37年) プラハ国際陶芸展グランプリ受賞  
 1967年(昭和42年) 第14回日本伝統工芸展「日本工芸会会長賞」受賞  
 1982年(昭和57年) 「日本陶磁協会賞金賞」受賞  
 1990年(平成2年) 多治見市虎渓山町に築窯  
 1994年(平成6年) 重要無形文化財「志野」保持者に認定

## 加藤卓男

重要無形文化財「三彩」

KATO Takuo



「青釉銀華花形花器」(市之倉さかつき美術館蔵)

1917年(大正6年) 岐阜県土岐郡市之倉村(現・多治見市市之倉町)に生まれる  
 1937年(昭和12年) 家業の福寿園丸幸製陶所(幸兵衛窯)に勤務  
 1963年(昭和38年) 第6回新日展「特選・北斗賞」受賞  
 1980年(昭和55年) 宮内庁正倉院より正倉院三彩の復元制作を委嘱される  
 1991年(平成3年) 「日本陶磁協会賞金賞」受賞  
 1995年(平成7年) 重要無形文化財「三彩」保持者に認定  
 2005年(平成17年) 1月11日逝去



## 加藤孝造

重要無形文化財「瀬戸黒」

KATO Kozo



「志野扁壺」(多治見市美濃焼ミュージアム蔵)

1935年(昭和10年) 岐阜県瑞浪市に生まれる  
 1954年(昭和29年) 第10回日展(洋画)で初入選  
 1968年(昭和43年) 第15回日本伝統工芸展「優秀賞(朝日新聞社賞)」受賞  
 1970年(昭和45年) 多治見市星ヶ台にて独立 荒川豊蔵に師事  
 1973年(昭和48年) 可見郡久々利平楽谷に穴窯と登窯2基築く  
 2008年(平成20年) 「日本陶磁協会賞金賞」受賞  
 2009年(平成21年) 「伝統文化ポーラ賞優秀賞」受賞  
 2010年(平成22年) 重要無形文化財「瀬戸黒」保持者に認定



### 【電車でのアクセス】

名古屋駅→JR中央本線多治見駅下車(快速35分)  
 →タクシー約10分または東鉄バス(北口)小名田線  
 「虎渓山」下車(徒歩5分)

### 【お車でのアクセス】 駐車場:無料(150台)

多治見ICから約10分  
 「往吉町5」交差点より北へ約1.5km

\* 展示入替のため臨時休館  
 2022年 2月28日 3月1日 5月9日 5月10日  
 7月4日 7月5日 9月5日 9月6日  
 10月31日 11月1日

### 第22回 陶芸講座

### 特別講演会

## 「美濃陶芸6人の人間国宝」

[講師] 国立工芸館 館長 唐澤昌宏氏

2022年1月7日(金) 10:30-11:45

会場:とうしん学びの丘“エール”ホール

参加無料(要事前申込)

陶芸講座のお申し込みは、とうしん学びの丘“エール”まで  
 → TEL.0572-22-1155 E-mail:yell-kanri@tono-shinkin.jp